

早稲田大学理工学部創設百周年記念祝賀会挨拶

河村 宏（新制9回卒）

私は、皆さんと同じ学び舎に学び、将来の友達を得、そして本日まで早稲田大学理工学部という名門の誇りを背負って生きてまいりました。この祝賀会に参加できることは大変光栄であり、悦びに存じます。

私は、やはり、歴史というものは単に振り返って過去を省みて、それに夢をみたとしてもあまり意味はないのではないかと考えております。そこに理念があり、使命があつてこそ初めて生きるものであり、名前が単に残っているからというだけでは、生命力のないものであると存じます。先ほど総長や理工学術院長の大変熱い想いを聞かせ頂き、お話を伺いながら応援歌と同時にジーンときたのですが、同窓の者として大変嬉しく存じます。

これからは、卒業生は、金を出せばいいという時代ではなく、もうすこし大学に対する貢献というか、参加意識というか、何か後世に生きることをしていく時であろうと考えております。OBの中には年金生活者も多くなり、あまりたくさんのお金はできないとしても、できるだけのことをする。体が動くのであれば何かできることを考えて活動しては如何でしょうか。

先ほどは、新組織について大分苦情があつたようですが、私は応用化学でありまして名前は残っております。大変有り難いことと思っております。

しかしながら単に名前を残していただいたからそれに安住するのではなく、何か理念や使命を持って活動をしてまいりたいと考えております。我々のそのような協力なくしては今後50年、百年の大学の将来は何か偏った存在、言い換えれば、社会性に欠ける存在になってしまうのではないかと思います。是非ともご参加の皆様には応用化学会の例をご参考にしていただきたいと存じます。

実は、私ども昨日、応用化学科創設90周年記念式典をやりました。百周年には10年足りないのですが、現在、応用化学会は、教職員、学生、OBを含めて7000人の会員がおります。そのうちの半分、3500人が会費を払っております。通常、会費を払うのは5ないし10%が一般的ですが、こういった例は大変まれです。それを原資にして私どもは活動を行っております。もちろん会報は出しております。OB、学生を対象にした年4回の講演会をOBが企画して開催しております。さらにホームページ (<http://www.waseda-oukakai.gr.jp>) は是非見ていただきたい。早稲田応用化学会という立派なもので週1回以上リニューアルしています。それからOBでポケットマネーを出し合つて奨学金制度をつくりました。もう4年になります。毎年4人の修士の学生に対して奨学金を出しています。多分、あと10年位は続く原資がいま残っています。それから教職員

との懇談会をもっております。嫌がられておりますが、先生方は、現場の情報に疎遠になりがちなので現場にいる者（現役OB）の情報を提供したいということで会合を年1，2回実施しています。また、学生との会合も年2，3回しています。特に、これから就職の時期を迎えますのでOBで就職談話室という活動を行っております。企業のガイダンスもご案内していますし、学生の就職に関する要望等を聞いて適切な助言等を提供しています。かくの如く、大変皆活発にやっております。現役の人たちは、時間的にも余裕がないということで、75歳を最年長として、62歳以上の30人のOBボランティアが活動しております。そんなことで、いささかでも体が動くうちに、頭がボケないうちに何か貢献をしたいと思い活動を続けております。

多分、理工学部全体でいくと同窓の志は10万人位ではないでしょうか。我々の所帯の10倍以上の所帯であろうと思います。全体をまとめるとなるとすぐには無理な話です。しかし、幸い、文科系と違って理科系は、まとめやすい数になっているのではと思います。応化が7千人、機械が5万人位、電気が2，3万人、それらの方が全て活動するのではなく、それぞれの科の中で、実際に活動するのは、意志のある人、理念を共有できる人、そういう人が集まって、各科が活性化活動を行い、いずれは理工学部全体でなんらかの組織運営をしていくように発展していければと願っております。

慶應の三田会などは、ものすごい組織です。私は、慶應の理科系はあまり高く評価していないのですが、最近はどうも世間の評価も高くなっているようです。彼等の組織、慶應の応化会は、我々も負けそうなくらい強くなっています。OBの数は少ないと思いますが、立派に組織ができています。

理工学部もやはり百周年を記念して何かアクションをとるべき時期に来たのではないかとおもいます。さもないと、我々の故郷を見捨てることにもなります。我々の人生の教師であり、人格形成の場であった大学を見捨てることは、我々の人格を捨てることになり、人間性を失うことになります。是非、最後のご奉公ということで提案にご賛同いただきたいと思います。

本日は、ご招待いただいたみたいで、たっぷり飲ませていただきます。有難うございました。